

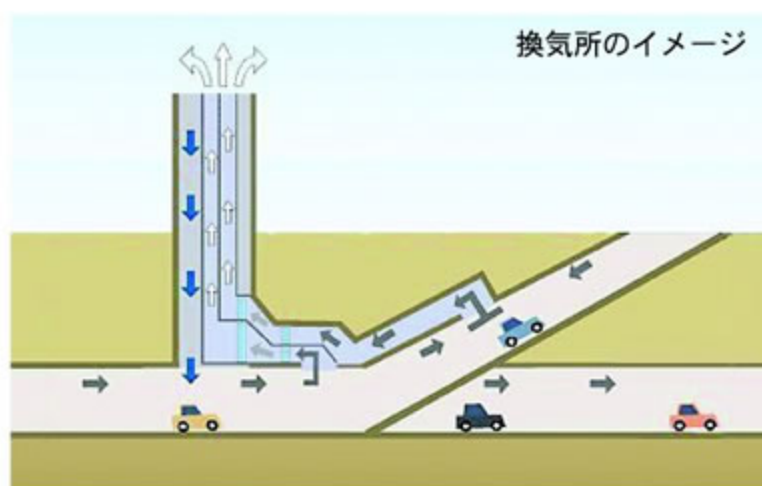
トンネル内の排ガスは換気所で処理

換気所については、今後検討していく外環道本線及び連絡路の延長・勾配や交通量に基づき必要となる風量等を算出して、換気所の必要数や位置を検討していくこととなります。その際、沿線や地上部への影響を極力小さくする観点が重要であると考えています。

なお、トンネル出口からの排ガス漏れ出しを防ぐため、一般的にジャンクション及びインターチェンジでは換気所が必要となるので、インターチェンジがない場合でも最低3カ所の換気所が必要になると考えます。

周辺環境への影響を最小限にするため、換気所が必要です。

トンネル内での自動車の排ガスは、トンネル内のジェットファンで換気所へ送り、換気所で浮遊粒子状物質(SPM)などを除去した後、換気所から空中高く吹き上げ、大気中で大きく拡散することとなります。この結果、排出されたガスの二酸化窒素の地表付近の濃度は環境基準の数百分の1以下にまで薄くなると考えられます。



換気所は、周辺の景観に配慮した検討が必要です。

換気所を設置する場合には、周辺の景観への影響に配慮したデザイン等の検討が必要です。



今後、影響を正確に評価し、具体的な対策を検討します。